

レンズを広範囲検査

ルケオが装置 大型で高精度



ルケオ(東京都板橋区、吉村健正会長、03・3956・4111)

は、水晶波長板や光学レンズの欠陥を検査する装置「ストリエキャッチャーLSC-5000」写真」を発売した。価格は顧客の仕様によって異なるが180万円前後。レンズ・食器メーカーなどを中心に年10台の販売を目指す。

同装置は光学レンズ、水晶波長板などの脈理、異物、気泡、スジなどを検査する。視野を直径45ミリと広い範囲で観察できる。また光源に高輝度の白色発光ダイオード(LED)を採用した。外形が幅400ミリ、奥行き400ミリ、高さ1210ミリと自社の従来製品に比べて大型化

し、より高精度検査できる。

脈理とはガラスなどを製造する際に異なる物質が混入すると、その部分だけが屈折率が変わり光学特性が異常になることをいう。